

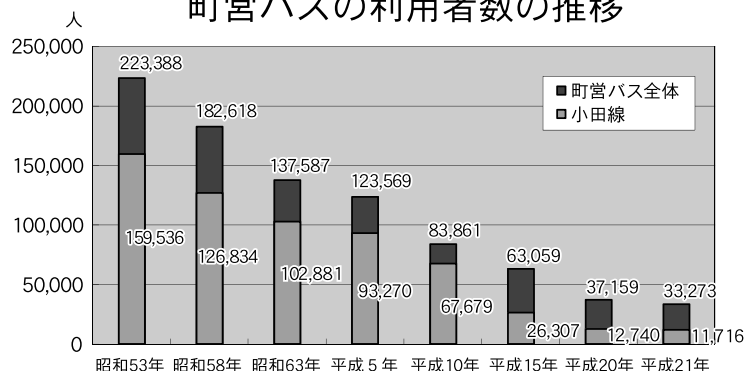
地域のバスを守りたい

小田地区利用促進策～回数券購入費助成～



「このままでは地域のバスが……。なんとか守りたい。」と小田地区自治会は立ち上がりました。小田地区の方にとって公共交通と言えば、町営バス。現在、家用自動車は、一家に一台、いや一人一台とも言える程普及しています。それに伴い、町営バスの利用者は年々減少を続け、存続が危ぶまれている状態。しかし、町営バス等の公共交通しか移動手段を持たない方にとっては貴重な移動手段。欠かせない存在です。「廃止されたら、非常に困る。自治会として何かできることはないか。」と小田地区で話し合いが始まりました。

町営バスの利用者数の推移



きっかけとなったのは、小田地区専門部会のひとつである村づくり部会でのことでした。平成19年12月、事前に地区民に行ったアンケートをもとに、話し合いが行われました。議題は「村づくりの上でどのような取り組みをするか。」です。その中の一つに、町営バスの運行維持が挙げられました。

それから小田地区自治会は話し合いを重ね、昨年8月には利用促進をよびかけるチラシを小田地区全戸に配布しました。そして自治会が考えたのは、回数券の半額助成。今年の1月の総会で予算措置を